

人権協シンボルマーク



いろんな人と人とのつながり、ふれあいを美浜のMと波でイメージしました。

ふれあい

美浜町人権尊重啓発協議会会報

第68号

発行：令和元年7月23日
(年3回発行)

編集：人権協広報部会

連絡先：美浜町生涯学習課

TEL 32-1212

FAX 32-1222

E-mail: jinkenkyo@town.fukui-mihama.lg.jp

人権協会長就任にあたって

河合政志



このたび、歴史ある美浜町人権尊重啓発協議会（人権協）の会長に就任することとなりました河合政志と申します。前竹仲会長の後を受け、責任の重さに身の引き締まる思いでいっぱいです。町民の皆様の温かい

励ましとご協力をいただきながら、これまで23年間にわたって積み重ねてきた成果を土台に、新しい時代を見据えた人権啓発の取組を模索しながら進めていきたいと思ひます。

ご存知のように、平成28年には、人権3法と言われる「障害者差別解消法」「ヘイトスピーチ解消法」「部落差別解消推進法」が成立し、差別解消を目指す流れがより具体的に動き出しました。美浜町では、これらの法制定以前の早くから人権協を中心に、人権課題を身近で切実な問題として捉え、「人権擁護」「学習」「広報」「調査」等の活動に取り組んできており、その成

果は着実に表れていると思ひます。例えば、学習の場としての年6回の町民人権講座も通算136回を数え、参加者も年間1000人を越えたり、広報紙への投稿も年々増え意見や感想の相互交流も進んだりしているなどは、その表れであると思ひます。

しかし、現実社会では、それを凌ぐような勢いで、インターネット上の人権侵害や虐待、人命を奪う事件・事故など、数々の人権問題が起こっているのも事実です。このようなときだからこそ、人権協の果たすべき使命はますます重大であると思ひます。一人一人の人権が尊重され、心豊かな人間関係と地域愛のあふれる美浜町を創り出し、それをさらに周りに大きく広げていく取組を今後とも7つの部会を中心にしっかり力を合わせて進めていく決意です。

町民の皆様の今後ますますのご理解、ご尽力を心よりお願い申し上げます、就任にあたっての挨拶とさせていただきます。

～認知症に備えてみませんか～

第1回町民人権講座

医学博士 長谷川 嘉哉 さん

5/tue
14

講演会では、認知症の症状や段階、予防・治療について、事例を交えながら分かりやすく説明いただきました。長谷川さんは、認知症に対する不安を解消するには、「まず認知症は知っておくことが大切」であり、不安を解消することで、家族として患者に対して後悔しない正しい選択ができるようになる」と語られました。

早期認知症は、脳の前頭葉機能の低下によるもので、論理的思考と理性のコントロールができなくなります。「待てない」「すぐ怒る」「理屈がとおらない」等の様子がみられたら注意する必要があります。また、料理をしなくなる、ATMの操作が困難になる、身だしなみに気を使わなくなる等の様子がある時は発症している可能性が高いとのことでした。

認知症にならないためには、生活習慣病を予防すること、運動すること、食事に気を付けること、歯を残すために定期的な歯科受診すること、「誘われたら、断らない！」の姿勢で社会参加すること等が大切とのことでした。

講座には約200人が参加し、認知症に対する理解を深めていました。皆さんも、超高齢化時代を乗り切るために、認知症予防の運動として、1日1分ずつの片足立ちを始めましょう。



実母が認知症で要介護3となり難しいことが増えてきています。一応家族を認識できるが、会話が成立しなくなってきています。自分もそうなる可能性があるため認知症に対する備えを学べよかったです。知っておくと対応がやわらかくなる、当人にやさしくなるとよい。資料が大変有効でした。大事にしたいです。

論理的でおもしろく、有益でした。健康づくりの動機材になりました。人権尊重のためにもなりました!!

とてもわかりやすい内容の濃い話でした。“人の話しだけをむやみに信じないこと”“正しく知ること”やっぱり大切です。

命の大切さ 人生の大切さ あきらめない心

第2回町民人権講座

タレント スマイリーキクチ さん

6/thu
13

講師は、1999年、身に覚えのない事件の殺人犯だとネット上に書き込まれ、以降、いわれなき誹謗中傷を10年もの間受け続けられました。その体験を基に、ネット犯罪の恐怖とその対策などについて講演をしてくださいました。

以下、スマイリーさんが話されていたネット犯罪の恐怖を幾つか箇条書きにまとめてみました。

- ・ネットは誰でも使えるが、それ故に危険もはらんでいる。
- ・昔あったトイレの落書きが、今はインターネットの中になまっている。
- ・言葉で人を殺せる時代。
- ・ネット上の書き込みには、情報提供者を疑いにくくさせる落とし穴がある。
- ・ウソが分からない（判断できない）人の情報拡散が怖い。
- ・ネット上の情報にはウソもある。
- ・信じた情報に依存する。

講演の冒頭で「町の人全員で見守れる、そういう地域をつくるにはどうすればいいか」という問いを投げかけられ、最後には「見える世界だけでも見守ることが大切」と説かれました。私はこの言葉を聞いて、今の情報化社会の中で生きていく上で、取得する情報の中から正しい情報を選択するには、自分の目で見て、体験して、そこから得た情報が大切であるということと、よく知りもしない情報を無責任に発信しないことが大切であると学びました。






私はネットトラブルに遭ったことがないけれど、自分が加害者になるかもしれないということを知り、ネットの使い方にもっと慎重になるべきだなと思いました。スマイリーキクチさんの「悔しいことがあった分、幸せになる」という言葉がとても印象に残りました。ありがとうございました。

ネットの世界の向こうには、色々な考え方をしている人がいて、自分の価値観で発言したことを、どのように受け取られるのか想像がつかないと思いました。自分の知らない恐ろしい現実を知って衝撃を受けました。ネットの世界は、普段目に見えないので、身近な人がネットとどんなふうにかかわっているのかわかりません。でもこのように気を付けなければいけないことがあるということを伝えて、身を守っていかないといけないと思いました。

情報社会の便利さの中にあるこわさを知ることができました。家族みんなで一度話すことも大切だと思いました。ことばを使うときの注意も改めて考えることのできる時間となり今日のお話を聞いて良かったと思いました。見守る地域が広まり浸透していくよう自分のできることを考えて取り組んでいければと思います。

2019年 今後の町民人権講座

●会場はいずれも なびあす

| | 日時 | 演題 | 講師等 | スタイル | テーマ |
|-----|----------------------------------|---|---|----------|-----------|
| 第3回 | 7月27日(土) ① 14:00～ ② 19:00～ | 映画『万引き家族』 カンヌ映画祭最高賞 日本アカデミー賞 8部門受賞の感動作! |  [主演] リリーフランキー・ 安藤サクラ・樹木希林 [上映時間] 約125分 | 映画 上映 | 繋がり 家族 |
| 第4回 | 9月27日(金) 19:30～ | 「写真で伝える、 世界と東北の今」 |  やすだ なつき 安田 菜津紀 さん (フォトジャーナリスト) サンデーモーニングにコメンテーターとして出演中 | 講演 | 難民 災害 |
| 第5回 | 10月24日(木) 19:30～ | 「人と物語と」 |  あさの あつこ さん (作家) 児童文学の金字塔 『バッテリー』の作者 | 講演 | こども |
| 第6回 | 11月15日(金) 19:30～ | 「※未定」 |  まつむら もとき 松村 元樹 さん (反差別人権研究所みえ事務局長) | 講演 | 部落 問題 |

「人権のまち・美浜をめざして」

人権協・部会紹介(全7部会)

会長 河合 政志
副会長 辻井 雅之・高橋 一男・竹本 三代一

人権擁護・啓発部会
 部会長 上田 秀夫
 木野 隆 藤田 俊一 知場 富雄 加茂 ひろ子
 中川 健男 武長 詩子 瀬戸 弘勇 知場 克幸
 馬野 さおり 田村 央泰 瀬戸 慎一 武田 晋

夏フェス(花火大会)や人権週間中に啓発活動を行います。推進委員相互の交流や研修を行います。

作品公募・意識調査部会
 部会長 森本 哲
 渡辺 直史 宇都宮 亮 三好 万里子 河本 猛
 木谷 浩章 山口 和哉 田邊 雄 浅妻 知明
 川畑 貴寛 高木 隼

人権作品(短い手紙・絵・ポスター)の公募を行い、入賞作品は人権作品集「ふれあい」として発行します。意識調査について検討していきます。

町民人権講座部会
 部会長 高木 賢治
 堀川 ふじ子 四ッ橋 政和 武藤 涼子 岡本 美紀
 藤木 尚子 采野 武善 大井 美果 竹内 洋子

年間6回の講座を開設し、広く町民に人権に関わる学習機会を提供します。(本号をご覧ください)

広報部会
 部会長 西野 泰弘
 宇都宮 貴 山野 泰孝 一瀬 繁紘 萩原 敦子
 中瀬 豪規 大同 浩子 武田 達也

年3回広報「ふれあい」を発行し、人権に関する情報や人権協などの活動に関する情報を提供します。

推進団体学習部会
 部会長 大塩 友之
 兵庫 賢一 寺田 真一 上原 浩 松田 うめ子
 川畑 成央 荒木 祐作 浜野 有美 三田 紘司
 田邊 拓登

集落・企業・団体等の自主的な学習機会の開催を支援します。

啓発資料・人権協コーナー部会
 部会長 高橋 一男
 森井 みどり 福嶋 智恵美 山口 有一 池田 直美
 塩濱 功平 加藤 睦教 金田 桂汰 中川 貴寛
 四ッ谷 美樹

身近に人権について考えていただけるような啓発資料「ふれあい」を発行します。人権週間に、人権協コーナーを開設します。

人権のつどい部会
 部会長 木子 雅之
 加藤 美千代 中嶋 さき子 河合 美恵子 伊藤 善幸
 玉井 なおみ 本間 博美 野原 佐智夫 西野 文隆
 池田 達弥 浅妻 真記

人権週間の意義を踏まえ、12/7(土)に「人権のつどい2019」を開催します。

人権コラム

『また、高齢者が運転する自動車での事故が〇〇で起こりました!』最近、頻繁に報道されている高齢者による交通事故のニュース。

本当に高齢者による事故は増えているのでしょうか? 高齢者の交通事故に対する隔たった報道に疑問を感じます。免許所有者10万人当たりの事故数は、60〜80代はここ最近10年で減っています。

80代での事故数がほぼ変わらないのに対し、免許所有者10万人当たりでの80代の事故数が減っているのは、超高齢化社会へと時代が変化してきたことによるのが起因ではないかと考えられます。(高齢者の人口が増えている一方、10〜20代は人口が減ってきているうえ自動車を持たない人が増えてきたe.t.c.)

ということは、統計上の数値からいわずに「高齢者の事故は減っている」ということではないでしょうか。高齢者による事故が大きな社会問題になっている昨今、一般の人々からすると各報道機関が高齢者事故にスポットをあてて取り上げられており、高齢者ばかりが交通事故を起こしている印象を与えているように見えます。(こうした高齢者の事故が起るとSNS等では『老害』といわれている場合もあるそうです。)

福井県もそうですが、都市部とは違い地方では高齢者にとつて(自分も含め若い世代でもそうですが…)自動車は必需品です。現に、買い物や病院に行っても確にお年寄りが多いです。また、年配の方の認知症についてもよくニュースで取り上げられていますが、若い人でも飲酒運転による事故や疾病による事故もよく聞きます。(偶然かもしれませんが、自分自身も事故を何回か経験していますが、相手方が60代以上だったことは一度もありません。)

現在の免許更新制度を改善する必要があるかあるかもしれません。(自主返納を促しているだけでは:社会全体が、高齢者自身が自分で運転しなくても生活して暮らしていけるまちづくり、国の政策が急務です)

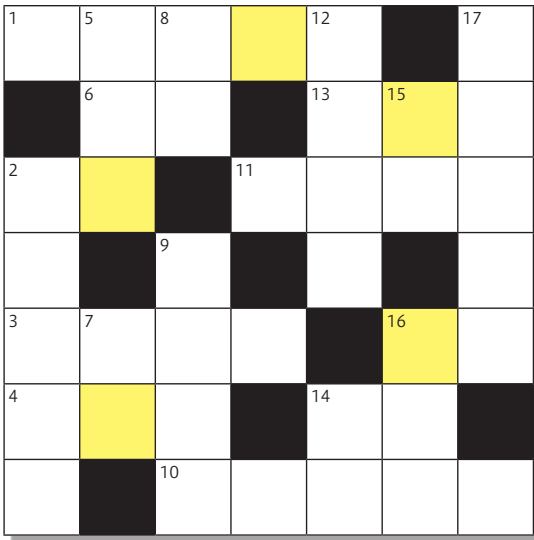
しかし、「高齢者は運転するな」という最近の世論は論点がズレているような気がします。

この先、少子高齢化が加速していくことは間違いなく、高齢者が起こす事故が今後増えていくであろうことは否めません。しかしながら、自動車メーカーによるドライバーが事故を起こさないような車作り、高齢者が運転をせざるを得ないこの社会(路線バスや鉄道といった交通網が廃線になってきている地方等)が少しでも改善されていくことを心から願うばかりです。



「ふれあい」第67号をお読みにになった読者の方より、多数のおたよりが寄せられました。ありがとうございます。紙面の都合上、その中のいくつかを紹介しします。これからもみなさんの「声」をお届けいただけると幸いです。

- ◆人権のつどいにおいて、辻井いつ子さんの講演会が開催されていたり、町民人権講座においてはビリギャルの映画としても有名な小林さやか産を講師として招くなど、多くの方が知っている方々なので、すごく興味の湧く内容であると思いました。講演会に参加すると、テレビや雑誌等では聴くことのできない貴重なお話を聴くことができるので、今後ともぜひ色々な講演会を開催していただきたいです。また「人権共同作品」の部分では、美浜の人々の優しい気持ちに触れることができました。今後とも楽しみにしています。(S・Sさん)
- ◆江口いとさんの“人のうち”を読んで、興味を持ち検索し、「招かれなかったお誕生会」も読みました。自分自身も差別され結婚の反対など経験しました。いとさんのように強く受け止めることはできませんでしたが、今は自分に子どももできて、子どもの環境からは差別を感じることはありません。が、もし差別に遭遇したときは、全力で受けとめて、子どもと向き合おうと思います。今度、図書館で江口いとさんの本を借りてみようと思います。(M・Tさん)
- ◆第6回町民人権講座の川口さんの記事を拝見して、ネット上での人権侵害が増加傾向になることに驚きました。人権協の皆さんの努力をはじめとして長年にわたる社会全体の啓発活動を通して、一般の方の理解はかなり進んでいると考えていたため、とても意外でした。ネットでは匿名で誹謗中傷が可能のため、一部の無理解の方が掲載しているのでしょうか。講演にあるように、若者に正しい知識を与える教育が今後とも必要だと感じました。今後とも粘り強い啓発活動をよろしく願いいたします。(I・Sさん)

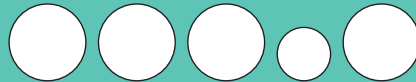


■ 応募方法 ■ (郵送、FAX、E-mailいずれかをお願いします)

- 答え・住所・氏名を別紙とじこみ用紙に書いて下記までお送り下さい。
〒919-1141 美浜町郷土29-3 生涯学習センターなびあす内 人権協事務局
※ FAX(0770-32-1222) E-mail(jinkenkyo@town.fukui-mihama.lg.jp)
- 〆切は、令和元年9月30日(月)です。(当日消印有効)
- 正解者の中から抽選で、図書カードをお送りします。
- 前号の人権クロスワードの正解は「そんちょう」でした。
たくさんのご応募、ありがとうございました。正解者は14名でした。
今回の当選者は **小林 房子さん 越智 真帆さん 川口みどりさん**
上田 めぐみさん 水上 利子さん
以上の皆さんです。おめでとうございます!

人権クロスワードパズル

黄色のわくの中の文字を使ってできる言葉が答えです。



ヨコのカギ

1. 磁石のN極が指す方向にあります。
2. 諦める時に投げるとされるスプーン。
3. 6月に開催されたG20のGは何の略?
4. 黄緑色をした果物。果汁はシロップやカクテル等に使われます。
6. ブドウ科のつる性植物のこと。
10. カニの品種の一つ。越前ガニもこれ。
11. 6月に開催されたG20の開催された都道府県は?
13. 若狭湾や三陸海岸に見られる○○○式海岸。
14. 碁盤や琴、新聞のページ等を数える単位。
16. 物事が相次いで現れること。「○○のたけのこ」

タテのカギ

2. 眩しい時にかけます。
5. 4月から5月にかけて花が咲く植物。「躑躅」と書きます。
7. 野球のベース。
8. 磁石のN極が指す方向です。
9. 作家コナン・ドイルが生んだ名探偵。
12. 北極海等に生息する「流水の天使」とも言われる生き物。
14. 兄弟姉妹の娘のこと。
15. 毎日、必ず昼の前に訪れます。
16. 船を通すための人口の水路。
17. フランス料理で使われる食用のカタツムリ。

編集後記

◆「失礼します」と一人の女の子が職員室へ入ってきた。その子の表情を見てこちらもつい笑顔になって「おはよう」と応えた。なぜつい笑顔になったのか? それはその子の「口角が上がって」いてなんとも穏やかでやさしい表情だったからであることに気づいた。◆「また怖い顔して。機嫌悪い?」と妻や娘によく言われる。そう、私の口角は下がっていることが多い。人間、口角が下がっていると、怒った顔や困った顔、自信なさそうな顔や悩みごとがあるように見える。逆に口角が上がっていると、好印象をあたえたり、話しかけやすかったり、周りに明るい雰囲気をもたらす。口角が上がっていると、知らないうちに人と関わるチャンスが増えて幸せになれるという。◆今年の体育大会のスローガンは「笑顔」だっ

た。笑顔は口角が上がった最上級の形である。勝つことよりもみんなで協力して絆を深めたいという6年生の思いが込められている。当日は口角の上昇がたい表情ばかりが目立つ素晴らしい大会となった。◆これを書いている間も口角を上げる努力をしているのだが、普段上げていない私にとってはこれが結構つらい。ぜひ、口角を上げて人を引き寄せ、一つでも多くの幸せやチャンスを手にしたいためである。◆人権協のテーマの一つは「ふれあい」。人が人を呼び、人と人とがふれあって、笑顔いっぱい、みんなが幸せになれるよう今年も活動がスタートしています。令和元年を迎え、人権協の取組に対するますますのご参加、ご協力、ご支援をよろしく願いいたします。(西)